

## 平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（滋賀県）

－ 予想収穫量（主食用）は15万4,100 tの見込み －

### 1 作付面積

平成30年産水稻の作付面積（子実用）は3万1,700haで、うち主食用作付見込面積は3万100haが見込まれる。

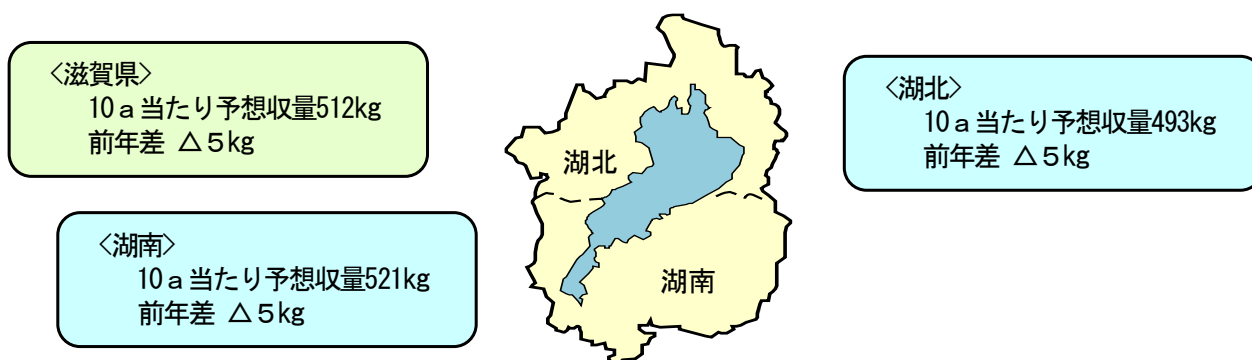
### 2 作柄概況

- (1) 全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから「平年並み」となった。
- (2) 登熟は、7月下旬に接近した台風第12号の影響により稔実の低下がみられたものの、出穂期から8月下旬までの気温及び日照時間が平年を上回ったことから「平年並み」が見込まれる。
- (3) これらのことから、10月15日現在の10a当たり予想収量は512kg（前年産に比べ5kg減少）が見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99となる見込み。
- (4) 作柄表示地帯別の10a当たり予想収量は、湖南は521kg（前年産に比べ5kg減少）、湖北は493kg（同5kg減少）が見込まれる。
- (5) 被害は、収穫前の台風と長雨による倒伏や刈り遅れにより穂発芽などの風水害が発生し品質低下等がみられる。

### 3 予想収穫量

以上の結果、予想収穫量（子実用）は16万2,300 t（前年産に比べ1,600 t減少）が見込まれる。うち、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は15万4,100 tが見込まれる。

図 作柄表示地帯別の10a当たり予想収量（10月15日現在）



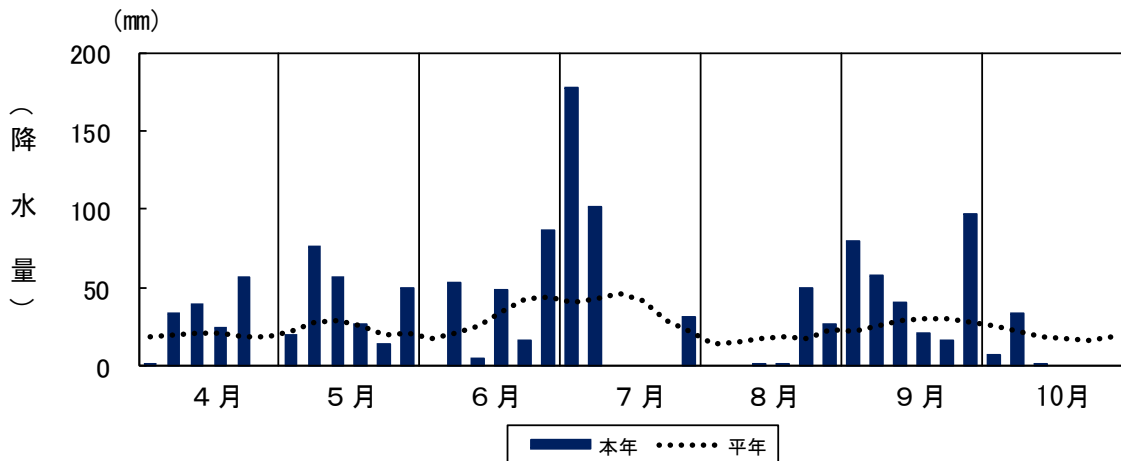
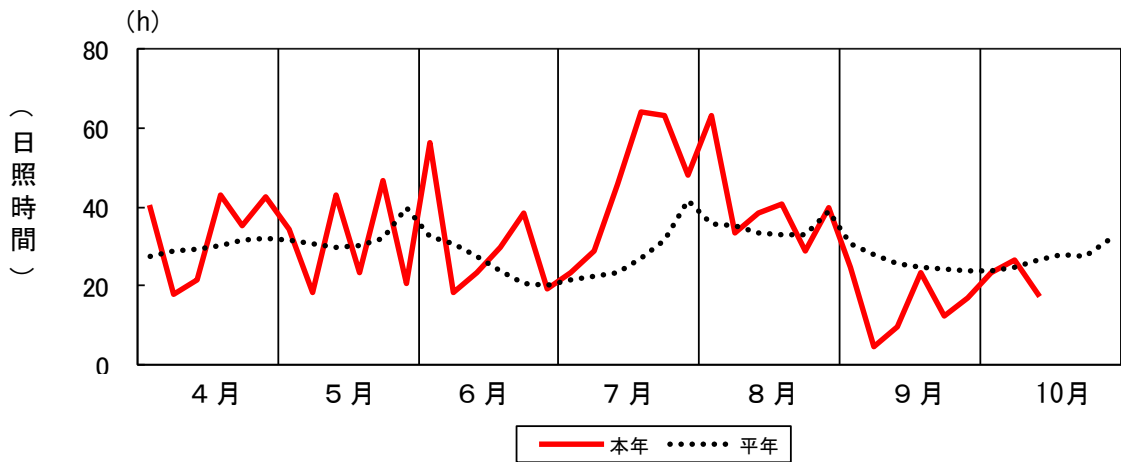
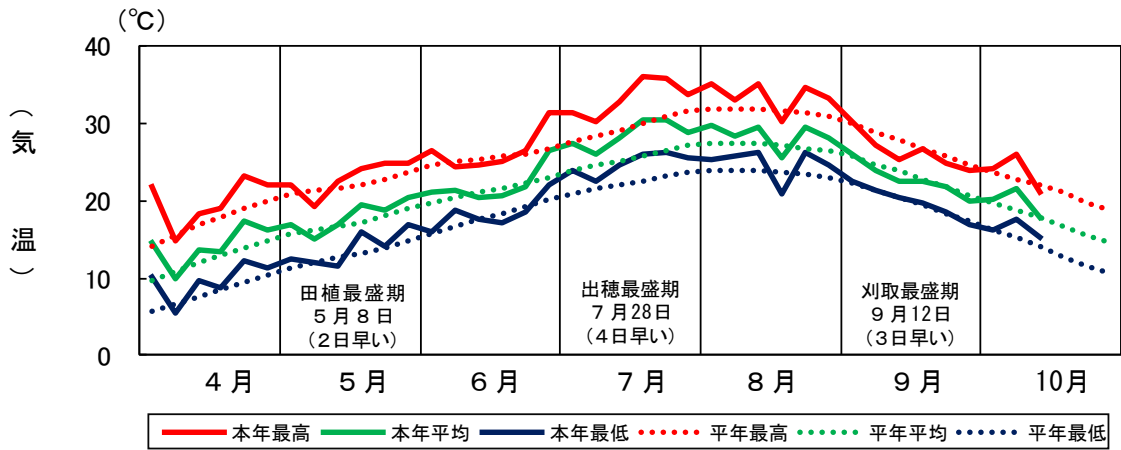
- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
- この資料は、「平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（近畿）」（平成30年10月31日公表）の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

滋賀県（彦根市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注： 田植期、出穂期及び刈取期の最盛期は、県平均の期日である。  
 なお、( ) は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 滋賀県拠点 統計チーム

電話：(代表) 077-522-4261 内線 3412  
 (直通) 077-522-4344  
 FAX： 077-526-3062